

土木事業



事業概要

土木事業では、道路、鉄道、河川、ダム、上・下水道、エネルギー施設などの社会インフラ整備、防災・減災に資する国土強靱化やインフラ長寿命化に関連する事業に取り組んでいます。

これからも、新技術の開発・導入を図り、人々の生活に欠かせない良質な社会資本の整備・形成に貢献していきます。

2020年度の主な完成工事(土木)



港湾・空港:二級河川大沢川筋大沢川水門土木工事(岩手県山田町)



道路:国道45号 鹿糠地区道路改良工事(岩手県洋野町)



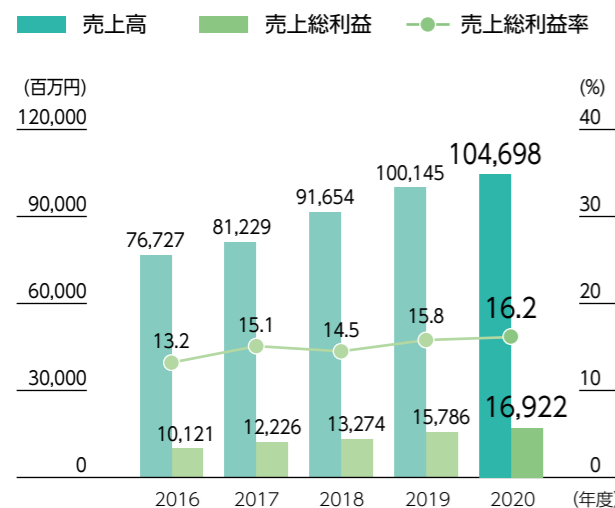
鉄道:北陸新幹線、白山宮保高架橋(石川県白山市)



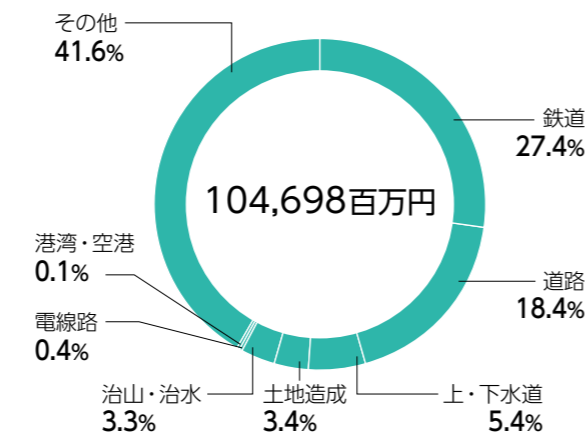
道路:(仮称)有馬口トンネル築造工事(兵庫県神戸市)

土木事業の業績(個別)

売上高・売上総利益(率)



売上工種別内訳(2020年度)



土木本部長 小寺 健司

土木本部長メッセージ

2020年度の土木事業の業績は、高水準にある手持ち工事の順調な進捗により、売上高、売上総利益ともに増加しました。

今後の事業環境については、新型コロナウイルス感染症の影響により、民間建設投資の先行きは不透明な状況にありますが、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」が始動するなど、政府建設投資は堅調に推移すると予想しており、中期経営計画の最終年度、さらには次のステージの企業価値向上につながる受注の獲得を目指します。

このような情勢の中、多様化する社会のニーズに応える技術開発、DXやAIをはじめとする技術革新に対応した生産性向上、働き方改革の取り組みも推進していきます。

土木事業の主な取り組み

土木事業では、「中期経営計画(2019~2021年度)」に基づき、以下の取り組みを強化していきます。

企業価値の向上	<ul style="list-style-type: none"> i-Constructionの推進 生産性向上に資する技術開発の推進 レジリエントなインフラ整備に寄与する技術の開発と展開 	<ul style="list-style-type: none"> 技術提案力の向上 品質確保の取り組みを通じた顧客満足度の向上 環境に配慮した設計・施工の推進
人的資源の活用	<ul style="list-style-type: none"> 若手社員の研修プログラムの充実 ICTなどの知識・能力を有する多様な人材の活用 現場業務の効率化推進 	<ul style="list-style-type: none"> 事業展開中の海外の国、地域において安定収益の確保に必要な人材の育成

TOPIC

レジリエントなインフラ整備への貢献に向けて ~日本最古級のPC水路橋の解体・調査~

芽登(めとう)第二発電所導水路の一部である茂喜登牛(もきとうい)水路橋は、日本最古級の稀少なプレストレストコンクリート(以下、PC)橋であり、発電用水(最大33m³/s)を導水する基幹水路として重要な役割を担ってきました。1958年の供用開始から約60年が経過し、大規模地震や電力インフラ維持への対応の必要性が高まっていました。

今回、土中埋設式逆サイフォン水路の新設および水路橋を撤去する工事を当社が受注しました。撤去においては、大型クレーンによる解体とPC橋では珍しい発破を使用した解体を行いました。本水路橋がPC技術の黎明期に極寒の地において建設されたこと、また当時の資料が多く残されていることから、既存PC橋の維持管理や今後のPC橋の設計・施工法、耐久設計に係る基礎資料の取得を目的として、土木学会に研究委員会*が立ち上がり、当社もこれに参加して調査を進めています。

これからも、さまざまな研究活動を通じ、国土強靱化につながる土木技術の発展に貢献していきます。

*土木学会コンクリート委員会「プレストレストコンクリート黎明期に建設された茂喜登牛水路橋の解体調査研究小委員会」

工事名:芽登第二発電所 導水路改造工事(発注者 電源開発(株))
施工場所:北海道足寄町



施工場所全景



新設導水路(施工中)



調査対象の既設水路橋PC桁



PC桁発破解体



橋脚発破解体